

ちょっと気配り灘のまちって?

灘区は平成7年の阪神・淡路大震災で大きな被害を受けましたが、復興の過程でまちの中に大量に捨てられるゴミや、違法駐車などが目につくようになっていきました。自分勝手にふるまうのではなく「ちょっとした気配りで住みやすい街になるはず」ということで、平成9年に「ちょっと気配り灘のまち」区民運動が始まりました。現在では、クリーン作戦やクリーンハイキング、花や緑で街を彩る、緑化・飾花などの推進活動にも広がっています。ちょっと気配り運動が始まって15年、新しく灘区に住む人も増えています。これからも住みたい、住み続けたいと思えるような灘区にするために「ちょっと気配り」を考えてみませんか?



「ちょっと気配り灘のまち」シンボルマーク



なだ桜まつりでの緑化・飾花推進活動



摩耶山クリーンハイキング



クリーン作戦(六甲道周辺)

なだ人紹介!!(第4回)



灘区では、灘区在住や灘区内で活躍されている方で、地域のことを語れる方や一芸に秀である方などを「なだ人」として登録し、利用希望があった区内の団体等に派遣しています。



日本酒学講師の会

沢の鶴株式会社（新在家南町）の社員で、日本酒学講師の資格を持つ6名で構成。日本酒学講師とは唸酒師、焼酎アドバイザーの上位資格として、一般的の消費者に広く日本酒や焼酎の魅力を伝えていくインストラクター的存在。日本酒学講師が行う講習会を受講すると日本酒ナビゲーターの資格が授与される。

気候、風土、立地などいくつもの好条件が重なった灘。灘が日本一の酒どころと言われ、灘の酒が江戸で人気を博した理由には、灘の人たちのたゆまぬ品質へのこだわりがありました。そして、それは「沢の鶴」に、今なお息づいています。沢の鶴の社員210名のうち、なんと126名が日本酒の唸酒師です。社員の半数以上が、日本酒の深い知識を持つ唸酒師というわけです。これも、より多くの方に日本酒の素晴らしさを理解していただくための取り組みです。「日本酒学講師の会」はその中心となって活動をしていく思いで「なだ人」に登録しています。



編集 灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
発行 灘区役所
〒657-8570
灘区役所まちづくり課内
(078) 843-7001代
なだだな No.29
2012年3月

摩耶山のホームページができました

摩耶山の様々な情報を紹介するインターネットのホームページ「mayasan.jp」(<http://www.mayasan.jp/>)が開設されました。山上施設の紹介や、山上で開催されるイベント情報、最新のホットニュースなどが満載。摩耶山で開催されているリュックサックマーケットのページもあります。



摩耶山を楽しむポータルサイト
mayasan.jp

摩耶山にキャラクターが登場!

摩耶山の伝説をもとにしたキャラクターが生まれました。このキャラクターがデザインされたバッジは、まやロープウェー駅にある懐かしい「ガチャガチャ」(カプセル販売機)で4月から販売します。



まや山のドラゴン

てんぐ族のこども
しゅげんくん

森の仙人 ほーたん



雪のようせい こゆきー



星のこども ほっしー

なだだな

灘のまちを知るための
情報誌

2012.3
Vol.
29

編集
発行
灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
灘区役所

なつかしの
灘区探検地図

灘のまちなんでも座談会



もちづき 望月 いちろう
1952年愛媛県生まれ

同志社大学では合唱団に所属。そのOBたちが中心になり、毎月第2土曜日の6時~8時に、阪急王子公園駅東口近くの王子地域福祉センターでうたごえ喫茶を始めて、まる1年。アコーディオン伴奏を担当。

リクエストに応じ、70年代フォークやシャンソン、童謡、唱歌、ロシア・ヨーロッパの歌曲 etc と、幅広いジャンルの歌を全員で歌います。いつでも誰でもお気軽に参加できます。20年ほど前、近所のアコーディオンコレクターの方から、「もう弾かないから」と譲り受けたのがきっかけで、アコーディオンを弾き始めました。空気(息)を吸ったり吐いたりしながらメロディを奏でるのが、まるで生き物のようで好きです。アコーディオノはピアノと違い、とても機動性の高い楽器です。屋外でも音量があるため、青空コラスの伴奏などにも適しています。ふだんはメガネ店を経営をしていますが、お声がかかれれば本業に差し支えない範囲で、アコーディオン伴奏出張しております。

なだ人の利用の詳細については、灘区役所で配布している「灘区まちの語り部推進事業活用ガイド」をご覧ください。ガイドは灘区役所のホームページ上にも掲載しています。

灘区ホームページ
<http://www.city.kobe.lg.jp/ward/kuyakusho/nada/>

第三火曜は
「ちょっと気配り」参加の日
「ちょっとした気配りで
住みよい灘区を一



神戸市広報印刷物登録
平成23年度第110-3号
(広報印刷物規格B-1類)
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

なつかしの 灘区 探検地図

山あり海ありの灘区は子どもにとって、ワクワクドキドキ冒険できる場所がいっぱい。今回の灘のまちなんでも座談会は、かつての子どもたちが語る、昔だからできた、あんな遊びやこんな遊びをご紹介します。

- 最近の子どもは、あまりまちの中で遊ばへんのかな。
 - かくれんぼ、鬼ごっこ、缶けり、3ゲン…外で走り回ってる子どもとかあまり見ませんね。
 - ぼくらが子どものころは、あちこち探検しに行ったり、いろんな工夫して遊んだけどね。
 - 山には水晶とりにいったりもしたで。
 - 水晶とれたんですか?
 - 昔は摩耶山の近くで、こぶしくらいの大きさの水晶がとれた。場所は言われへんけどな。
 - 大きな水晶は先輩らにとりつくされてたから、ぼくらの時は小さい水晶しかなかつたですよ(笑)
 - 伯母野山のあたりでは化石もとれたよね。今みたいにマンションとか建つてなかつたころ。
 - 銅鐸が出土した桜ヶ丘には勾玉(まがたま)も落ちてたで。友だちと拾いにいったわ。
 - それ文化財でしょ? 返さんといかんのと違います?
 - もう持つてへんと思うで。それに桜ヶ丘遺跡が発掘される前やつたからね。
 - 摩耶山は冒険の山やつたな。虫とつたりどんぐりひろたり、すべり台遊びとかもしたなあ。
 - 山上の遊園地にあつたすべり台ですか?
 - いや、摩耶ケーブルの線路の横に溝があつて、そこで松の枝を尻に敷いて滑り降りるねん。
 - 危ないなー! 命知らずですやん。
 - あと、杣谷川の上流の淵で泳いだり。天然のプールや。あとアケビとつて食べたり。
 - ほとんど野生児ですね。浜の方の遊びはどうでした?
 - 船とかブイに黒い貝がびっしりついてるのをとつて浜で焼いて食べた。あれはムール貝やな。
 - なんですか、そのヨーロピアンなおやつは。
 - ウチの近所には、なんかしらんけどトウモロコシ植わつて、とつて食べたら固いけどうまかった。
 - みんな「買い物」じゃなくて「とり食い」やないですか。
 - 遊ぶための道具も自分らでつくつたで。竹馬とか空き缶で作った馬とか。石やりも作った。
 - 槍つくつたんですか? 原始人なみですね。
 - ちゃうちゃう、長い槍と違うで。二またの木にゴムつけて石を飛ばすおもちゃのこと石やりいうねん。
 - へー! 初めて聞きました。ボクらはバチンコ言うてましたけど。
 - 釘で手裏剣も作ったね。今考えたら危ないおもちゃやな。作り方は言われへんけど(笑)
 - ぼくらは灯油の一斗缶のふたを花びらみたいにつぶして、まわりをギザギザに切つて手裏剣作りました
 - 一斗缶懐かしいなあ。最近はあんまり見んようになった。今はポリタンクやもんね。
 - あと鉄砲も作った。割り箸鉄砲とか杉玉鉄砲とか。当たつたら結構痛かった。
 - ベニヤ板やタン板とかガラクタ集めて、家のすき間や空き地で基地も作りましたね。
 - ロビンソンクルーソー気取りやね、昔は空き地もあつたし廃材とかようさん落ちてたし。
 - とにかく、今みたいにおもちゃやゲームがなかつたからいろんな道具を自分らで作つてたね。
 - 女子はアクセサリー作りかなあ。レンゲ、ツツジ、ジュズダマとかで首飾りとか作りましたよ。
 - ゴム飛びもよくやってましたよ。あと道でヘビイチゴをとつて食べたりとか。
 - ヘビイチゴとか見なくなつたよね。生き物もよくとつたなあ。
 - 山が近いから夏はカブトムシとかクワガタとりとか。今もとれるんかな?
 - 灘駅の近くの側溝でザリガニ釣りとかしましたよ。
 - 都賀川にはウナギがおつたし、水がきれいな井戸がいっぱいあってホタルも飛んでた。
 - そして灘浜では魚釣り。ため池にセーロビン沈めて魚とつたり。
 - セーロビン? てなんですかそれ?
 - 魚やエビをとる仕掛けや。セルロイドでできてたからセルロイドビンがなまつたんと違うかな。
 - なまつたといえばインサいう遊びあつたやろ。あれはテニスのインサイドがなまつたらしい。
 - 灘には昔からテニスコートがあつたから、テニスを見た子どもが考えたんかもな。
 - 山から海までいろんなアウトドア遊びができたんですね。
 - 今でもできるアウトドア遊びを考えてみるのも面白いね。
 - 今年はオリンピックの年やから、灘区で遊びのオリンピックとかしたらどう?
 - ベッタン、かくれんぼ、こまわし、ゴムとび…いろんな種目がありますね。
 - 学校対抗もおもしろいかも。
 - やっぱり金メダルの代わりに、勾玉かな(笑)

